

『喜連川丘陵・簡単すぎ木工プロジェクト』の特徴

***** 木工館のすすめ *****

【はじめに】

わたしたちは栃木県さくら市で廃校小学校を利用して『木工館』を運営しています。建物を市から賃借(民間公募)し、民間ビジネス事業として平成24年に開館し9年目です。スギヒノキ木製品や『簡単すぎ木工』そして『木工館』が全国に普及できたらと思案しているところです。

『喜連川丘陵・簡単すぎ木工プロジェクト』の特徴及び有効性をご案内させていただきます。

1. 事業概要

スギヒノキは日本中に膨大にありながら身の回りにありません。スギヒノキをインテリア品として普及できれば山村過疎地の複数の課題を同時克服できると考え、これまでなかった『簡単すぎ木工』と新たなデザイン手法により多彩なスギヒノキ木製品の大量供給をめざしているところです。広い空間を有する廃校施設を有効利用し、製作販売に加え木工塾と木工体験等も提供するなど『総合木工館&交流館』としてビジネス事業を展開しています。

詳しくは、別途資料をご覧ください。

2. 事業の特徴・メリット ***** 新たな『簡単すぎ木工』の特性 *****

・簡単だけど本格的

電動工具を使い既成の接合材(ダボ、ビスケット)を用いた接合方法なので簡単
やわらかいスギでありながら高強度高耐久を実現

⇒軽くてぬくもりがあり耐久性に優れた『スギの椅子』が実現

やわらかいスギヒノキは、加工性が優れるので容易に成果がでる＝まさに“簡単”

・人材育成が容易

熟練を有しない簡単すぎ木工とその人材育成システムにより短時間に育成できる
(これを木工塾にも転用することで収益源にも活用)

・人材確保が容易

人材確保が困難を極める過疎地においても人材確保が可能

(現在、私どもでは、木工未経験の退職Uターン者を短時間に人材育成し雇用)

・”簡単”により人材育成コストと製作コストの大幅削減が実現し

国産手づくり品を相応に安価に提供できるようになりました。

(なお、手づくりなので量販店の商品に対しては高価感がありますが)

また、家具から小物品まで多彩に提供することで、

・女性をはじめ障がい者など、老若男女を問わない関わり(雇用創出)が可能

(障がい者雇用は実現していませんが、障がい者施設に外注は実施中)

・ゴミがほとんど出ない

端材はそれを小木片に加工し、木工体験(木片木工)に利用

粉末材(おが粉・研磨粉)以外の残材は薪ストーブの燃料に使用

・インテリア品を通じて木の良さを実感することで

住宅への利用拡大にもつながる(これまで、インテリア品への利用が皆無)

3. 木工館として廃校施設利用のメリット・有効性

- ・廃校舎を改築なしでそのまま利用できる(低圧電気工事のみ)
- ・多彩なラインナップを大量に展示配置できる。≪非日常空間の創出が容易≫
 - 木製品をあふれんばかりに展示配置するだけで非日常性の高い空間が容易に実現。
 - 無機質な都市空間に対し、『行ってみたい・リピートしたい』≪イベントなしで集客
 - 大型店と競合できる。→過疎地でも集客できる。
- ・在庫を大量にストックできる。
 - 大口注文・一括納品も可能
- ・大型製品の製作や大量の塗装養生も容易
- ・製作ヤードが広いから、木工塾の受け入れが容易
 - 塾運営の工夫により、自分の都合で通える木工塾を実現＝日曜大工好きに大好評！
 - 塾生受入による収益と機材の稼働率アップによる維持経費の削減
- ・部品の木工体験への利用
 - 小物品やスツールの部品を木工体験用に転用利用
 - 多彩な体験メニューを容易に提供できる

4. まとめ * * * * * 木工館のすすめ * * * * *

過疎地(田舎)に残された廃校施設と地域資源(スギヒノキ)を有効活用し
無垢の自然素材をあふれんばかりに配置された里山の廃校舎空間は
都市部ではありえない非日常感の極めて高い空間となります。

無機質な都市空間に対し、『行ってみたい・リピートしたい』空間が
改築なしで安価に短期間を実現できるのが『木工館』です。

森林環境保全から生涯学習や社会的弱者も支援するなどを通じて地域活性化をもたらす
真に地域理解を得ることができる廃校利用方法であり、推奨させていただきます。

木の文化・森林大国“日本”の各地域ごとに、『木工館』があつて然るべきだと思います。

事業活動を言葉だけでは十分伝えきれません。

以下の資料もあわせてご覧ください。

・事業活動概要、・木工館施設内外の様子・製品リスト、・木工塾木工体験メニュー

以上、お問い合わせは下記までご連絡ください。

* * * * *

・施設名: きつれがわきゅうりょう喜連川丘陵の里 杉インテリア木工館

・運営法人: 一般社団法人 素木工房里山想研(そぼくこうぼう さとやまそうけん)

・代表理事: 薄井 徹(うすい とおる)

・住所: 〒 329-1403 栃木県さくら市穂積478

・TEL・FAX : 028-685-3841 (代表携帯: 090-1762-2379)

・E メール: toru040401sobokukobo@yahoo.co.jp

・URL <http://mokkoku.is-mine.net/>

お急ぎの際は、電話・携帯にご連絡下さい。

※月曜休館日(祝祭日のときは翌日休)

* * * * *